

調 報



調布市文化協会

調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

「文化協会への関わりと期待」

財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団 常務理事 吉田 隆 司

昨年、文化・コミュニティ振興財団は設立十五周年を迎えました。財団が管理運営をしています文化会館たづくりもまた、この十五年で大きな発展を遂げて、図書館を利用したり、文化活動や学習活動など、生涯学習を中心に毎年二〇〇万人を超える方達のご利用をいただく施設となりました。

エントランスホールや施設内のあちらこちらで多くの笑顔に出会うたびに、その笑顔一つひとつに感謝をしたい気持ちでいっぱいです。

ところで、毎年調布市では市民意識調査というアンケート調査を実施していることをご存知でしょうか。この集計結果を見ますと、たづくりやグリーンホールを中心とした文化活動、生涯学習に対する市民の皆様の満足度につきましては、「満足している」「やや満足している」と答えた割合が、それぞれここ五年間毎年上がり続けています。

施設がきれい、駅に近く利便性が高い、安全等々理由は多くありますが、私はここを拠点に少しでも調布の文化を市民の中に広げようと頑張っておられる文化協会の存在を忘れてはならないと思います。

昨年の秋に実施をされた市民文化祭は五十五周年記念にふさわしい大変素晴らしいものでした。

開催期間約一ヶ月間、そして文化協会の皆様が実行委員として約五ヶ月間という長い準備期間を経てつくりあげる、そうした手

法はおそらく他の市にはない独特なものであると思いますが、そのプロセスこそその意味があり、市民の皆様自身による文化の祭典の実現であると思っています。

「私達に年齢は関係ありません。私達にとって大切なのはまさにこの今。つたないながらも達成感があるこの今が大切なのです。」と堂々と舞台でご挨拶をされた団体の会長さんがいらつしやいましたが、子供も高齢者もみんなが主役で主人公、まさにそれが文化祭の姿であると実感をいたしました。

調布市にとりましても、また財団にとりましても大変大きな事業のひとつであります文化祭を通して文化協会への関わりと期待はこれから益々大きくなるに違いありません。

このまちに息づく市民の文化を皆様とともに育て、皆様とともにその輪を広げていきたい・・・心からそう願っています。

この度、常務理事に就任された吉田隆司氏は文化協会所管・生活文化部の次長として長年ご足労いただきました。五年前文化協会へ市からの補助金が年々減額される状況下、その補助金制度から交付金制度に移行する英断を下された方であり、また文化協会が調布市において重要な存在である事を力説し期待されておられる方でもあります。長年培った信頼関係で、調布市文化の発展に一緒に歩める幸せを噛み締めています。

へ調布市文化協会会長 高岡 宮子

平成二十二年 度 事 業 報 告

平成22年

4・13 文化協会役員会

4・24 第43回定期総会(懇親会)

21年度事業会計報告

22年度事業計画・予算

5・8 文化協会役員会

5・30
～
31

三島市文化芸術協会との

研修交流旅行(参加30人)

6・18 第1回文化協会理事会

6・4 市長と語る懇談会

理事会

7・15 会報45号発行

8・7
～
8 木島平村芸術文化協会と

の交流(参加30人)

8・29 「調布よさこい」への協力

模擬店出店・役員担当

民謡舞踊好友会100人、ハ

ワイアンフラ協会100人舞

踊参加協力。

平成23年

1・18 第2回文化協会理事会

1・26 財団と役員との懇話会

2・19 第14回生涯学習講習会

テーマ「深大寺地域エコ・

ミュージアム構想

～歴史と文化をまちづく

りに～」

3・10 会報46号発行

なお、期間中に文化協会主催・

(財)調布市文化コミュニティ振興財

団共催で、実技講座10団体が実施

され、参加人員は409人であった。

祝55周年記念調布市民文化祭実行委員会報告

平成22年度

4・20～30 文化祭参加団体申込

受付

5・21 第1回実行委員会

参加団体確認

予算決定

開催日程と会場割 他

6・11 第2回実行委員会

調布市民文化祭テーマ決

定

ポスター・総合プログラ

ム作成準備

市報原稿確認

7・9 第3回実行委員会

開会式・文化祭プラザ内

容決定

(29団体・3公民館参加)

総合プログラム原稿確認

9・13～23 一般市民文化祭参加

申込受付(87人)

9・10 第4回実行委員会

ポスター配布

10・1 第5回実行委員会

総合プログラム配布

「開会式」役割分担への

協力について・実施報告

書・写真・プログラムの

提出について

10・16 第55回文化祭開会式

「式典・アトラクション」

くすのきホールにて

10・16～11・14 市民文化祭開催

10・23～24 文化祭プラザ

市役所前庭にて

工芸・将棋の実技、実演

コーナー

エスぺラント・アマチュ

ア無線の展示・発表

フラダンス、民謡舞踊交

友会野外ライブ

10・30～11・7 3公民館地域文

化祭

12・10 第6回実行委員会報告会

参加状況報告、会計報告

次年度の検討・要望など



平成二十二年度 木島平村芸術文化協会との交流 第二十六回木島平村夏祭り・盆踊りに参加

調布市文化協会副会長 岳野 勝治

八月八日(土) 午前七時、木島平観光(株)のバスで、調布市文化協会役員及び会員総勢二十八名、天候にも恵まれ、車中和気あいあい、関越自動車道、信越自動車道経由、途中所々渋滞に会いながらも比較的順調に「パノラマランド・木島平」に到着、待ちかねておら

れた木島平村芸術文化協会の方々との交流が行われました。

今年是我々の外に「越中おわら風の盆」のメンバーが招かれていて、交流会も一緒に行われました。

例年のとおり、木島平村芸術文化協会本山栄巳会長、調布市文化協会高岡宮子会長お二人のご挨拶に始まり、それぞれの会の出席者紹介が行われ、交流と昼食会が始まりました。

長年交流のある方々が、肩を抱き合えばかりに旧情を暖め合う姿を拝見していて大変好感がもてました。

夕食後、浴衣に着替え、「ケヤキの森・中央公園」にバスで移動、夏祭り、盆踊り、各地区の山車コンクール、越中おわら風の盆の紹介、鬼島太鼓の演技、花火大会等



に参加いたしました。

木島平村村長、夏祭り実行委員長、調布市市長、調布市市議会議長の方々の挨拶に始まり、「盆じゃもの」「木島平どどんか」「調布音頭」「からす踊り」を大きな円を幾重にも描いて浴衣姿の舞が見られ、その間を縫って山車が回っておりしました。調布から参加された方々はさすがお上手で「盆じゃもの」等々を手馴れた仕草で踊っているのに見惚れたり、大勢の調

布市新人職員の浴衣集団が意外と上手なので感心したり、ゲゲゲ関連の扮装にテレビの影響の大きさに改めて感心したりして、過ぎ行く夏を楽しみました。

締め括りの「鬼島太鼓」の見事な演技と音の芸術、突如頭上に開く壮大で腹に響く打ち上げ花火の開花で、名残惜しくも夏祭りも終わって行きました。

翌朝九時、大勢の方々のお見送りを受けながら帰路の目的地松本市に向かいました。松本では旧家の残る中町散策、「ホテル花月」での昼食、その後「国宝松本城」の見学予定でしたが、「七夕祭り」シーズンとあって混雑のため城内見学は出来ませんでした。代わりによりゆつくりと市立博物館を見学することが出来ました。最後に信州教育発祥の拠点となった「開智学校」を見学、往時の人たちの教育に対する思いを偲びながら、全員無事一路調布に帰って参りました。

今年には55年の節目とあって、右記のテーマと期間で開かれました。

参加団体は、大会、発表部門20団体と展覧、展示部門9団体、そして東部、西部、北部の3公民館による地域文化祭（10月30日(土)～11月7日(日)）が各会場で熱心に趣向をこらして行われました。

10月16日の文化祭開会式は出席者六四

祝55周年記念 調布市民文化祭 「文化の風、心でつなぐ市民の輪」

2010年10月16日(土)～
11月15日(日)
(文化祭プラザ
10月23日(土)～24日(日)
於調布市役所前庭)
開会式アトラクション
「Trio da Cuore
— 心からのトリオー—」
出演
江口有香・江口心一・脇岡洋平



音楽祭 (調布市音楽連盟)



ハワイアンフェスティバル (調布ハワイアンクラブ協会)



ファッション協会



奇術発表会 (調布市奇術協会)



クラシックギター発表会 (電気通信大学古典ギター部)



調布市美術協会



いけばな展 (調布いけばな連盟)



アマチュア無線の公開運用 (調布市アマチュア無線クラブ)

八名で、アトラクションはトリオタクオー
レー心からのトリオと題して調布育ち
の江口有香、江口心一姉弟そして脇岡洋
平氏らのすばらしい演奏に拍手喝采でし
た。開会式終了後、引き続き55周年の祝
賀会が来賓、関係市職員、実行委員百有
余名で盛大に行われました。

今年の観覧者数は発表部門二一、三一
七名、展览展示部門一五、九五五名でし
た。また10月23日24日、調布市役所前庭
で開催された文化祭プラザも本部テント
でのコーヒー販売や実技、実演コーナ
ーでの市民参加、そして野外ライブとして
一日目23日はハワイアンフラ協会による
フラダンス、タヒチアンダンス、24日は
民謡舞踊好友会の日本舞踊とそれぞれ熱
気あふれるライブで道行く人も思わず足
を止めて見とれておりました。

「第55回調布市民文化祭」

調布市文化・コミュニティ
振興財団事業課 西田祐也

55周年記念調布市民文化祭は
節目の年ということもあり、例
年以上に盛大に行われ、無事に
幕を閉じました。これもひとえ
に文化祭実行委員会、市民の皆



市民囲碁大会 (調布市アマチュア囲碁連盟)



様のご協力のおかげであり、大変
感謝している次第でございます。
「文化の風 心でつなぐ市民の
輪」のもとに、調布の街に「文化
という名の風が吹き渡り、市民の
皆様が心と心を通わせ、垣根のな
い街を目指していくという希望の
持てるテーマでした。私自身もこ



小・中学生書道展 (調布市書道連盟)



フラワーデザイン展 (調布市フラワ)

の文化祭の中で文化祭関係者、
市民の皆様との一体感を強く感
じることができました。
調布市民文化祭が調布市の発
展につながり、市民の皆様を生
活に彩りを加えるものであり続
けるよう、心より願っております。



文化祭プラザ 本部テント



文化祭プラザ実技コーナー (工芸美術協会)



絵画展 (調布)



熱き思いを語る



第14回生涯学習講演会

テーマ「深大寺地域エコ・ミュージアム構想」

～歴史と文化をまちづくりにつく～

講師 張堂完俊師（深大寺住職）

日時 23年2月19日（土）18時～20時

会場 調布市たづくり8階映像シアター

参加者 100名

主催者、調布市文化協会・高岡宮子会長、続いて超ご多忙の調布市、長友貴樹市長のご挨拶に始まり、標記のテーマで張堂完俊師より、日頃は伺えない深大寺周辺に関するお話、白鳳仏が発見された当時の秘話及びその厨子にまつわるお話から「人の縁えん」の不思議さ、大切さについて語られました。更には調布市のほぼ中央を流れる野川に遊覧船を浮かべたり、灯籠流しを持ってきたり、観光や交通の便に供してはどうか、等々のご提案がございましたが、何よりも「自然・文化・歴史・深大寺そしてそば」をもっと大切にして、まちづくりを活用してゆきたい、と結ばれた後、活発な質疑応答が行われた盛會裡に終わりました。

「返景の杜」植樹祭が

行われました

平成22年9月25日に木島平村内望郷にこにこファームで姉妹都市盟約25周年の記念と今後の更なる発展を願って植樹祭が行われました。

そしてこの交流の森は「返景の杜もりの」と名づけられました。

当日は調布市から長友市長を始め関係職員、当文化協会から高岡会長、吉井副会長が参加致し、サトウカエデ二五〇本の植樹を行いました。なお文化協会名で一本寄贈致しました。



実 技 講 座

鉢花のアレンジ初心者講習会

フラワーデザイン協会 海津 成子

一年の間で一番楽しくフラワーデザインする事のできるクリスマスシーズンのために、鉢花を使い少しでも長い期間楽しむ事のできる作品の初心者の方のための講習会を十一月二十八日と十二月五日の二日間行いました。参加者の皆さんには一回一作品を製作していただきました。

最近の経済状況や生活習慣の変化などで花に対する思いも変わってきましたが、誕生日をはじめ様々なイベントや行事に花は欠かす事ができません。切り花だけでなく鉢花を使う事で費用もおさえることができますし、デザインの幅も広がります。今回もオーナメントの一部を手作りしていただいてそれぞれ個性のある作品を完成しま



しました。参加者の皆さんも各自で工夫を加え楽しく仕上げてくださいました。短時間の講習でしたが時間いっぱい楽しく製作しました。最後に全員の作品を見て廻りアイデアや工夫に感心したり、おどろいたりしました。そして私自身とても勉強させていただいた講習会でした。

初めて弾く大正琴

初心者講習会 鳳弦琴の会 根本 良平

11月21日、28日、の2日間、文化会館たづくり、研修室に於いて、大正琴講習会を行いました。天気がよく、大勢の参加者を見込み、15台の大正琴を揃えて待機、

ボタンを押さえ、右手指にピックを持ち弦を直角に一挙に弾き音を出します、頭の中では先のメロディーの譜を見て考えながら弾いて行きます。

残念ながら、6名の参加者でした、講義に入り、大正琴の音階ボタン、楽譜（数字譜）、指の使い方等の説明をし、リラククスしたところで実技に入りゆうやけこやけ、さくらさくらの2曲を弾き始め、和やかな雰囲気の中授業を進めました。左指の使い方を中心に親切丁寧に指導、大正琴の音階ボタンは、次のボタンを押さえるまで離さない、押さえたなら前の指を離して弦を弾くことが大切と強調し、親切丁寧に指導し、楽しく2日間の講習会が終了しました。

メトロノームに合わせながら譜面の数字譜にあっていることを確かめながら、弾いていくことが大切、テンポが速くなるにつれ、左脳、右脳に与える刺激が大きく歳をとっても若々しく見られる（ボケ防止）事があります。

みなさん指の使い方熱心に取り組まれた、ところが印象深く思えました、大正琴は、左指で音階

あなたも大正琴を弾きながら、仲間をたくさん作り、生涯学習を楽しく過ごしませんか。



実 技 講 座

カネ (男性) フラダンス

調布市ハワイアンフラ協会会長 ホーオピイラニ富澤



カネ (男性) の実技講座に参加させて頂いた時ハワイの文化を知らない方が多く、現在少人数で体を動かして汗を流しています、もっと皆様に知ってほしい。

私は微力ではありますが少しでも皆様の健康作りと、地域社会に奉仕をし貢献する事こそ私の責務と心得、今後も努力を続けていく所存です。ハワイアンフラ協会に声援をおくり、いつも指導して頂いている調布市文化協会役員、市職員の方、ささえてくださる多くの関係者の皆様に深く感謝致します。

これからも南国の文化のよさを女性だけでなく男性にも夢を持って頂き、大所帯になるようねがいながら……

文化協会創立45周年記念号原稿募集

文化協会は今年で創立45周年を向かえますがそれに伴ない秋に記念特別号を発行する予定です。

ついでには45年の間に色々ご苦勞なされた事、嬉しかった事等々この際、この機会には是非会員の皆様にお知らせしたい事がありましたら会報編集部まで原稿をお寄せ下さい。

編集後記

本年六月実地された「市長と語る懇談会」席上『野川の桜』をまちおこしに活用したらどうか』のご意見がありました。その時は夜桜の照明の問題が複雑からんでいた、そのまま聞き流し状態となっていました

が、私的にはその後の方向付けには一考の余地があるように思います。今号は、吉田常務理事のご挨拶に始まり、平成22年度文化協会事業報告、祝55周年記念調布市市民文化祭報告、平成22年度木島平芸術文化協会との交流事業報告を中心に作成しました。この他にこの期間に実施されたフラワーデザイン協会、大正琴連盟、調布市ハワイアンフラ協会による実技講座の報告を掲載しました。

野川をまちづくりを利用したらと云うご意見はこれで二回ありました。今年「ゲゲゲの女房」の放映で調布市の名は全国にP・Rされました

年二回発行しております調布市文化協会会報内容に関して、協会の皆様のご感想、ご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

奥平 恭子